

缶サットとは？

自作した缶サット（空き缶サイズの模擬人工衛星）を、ヘリウムガスを用いた直径3mの気球で100m上空まで運搬します。この缶サットの上空での放出・降下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を養います。従来の実習のように「定められた技能」を磨くのではなく、生徒の皆さんが斬新でオリジナリティーのある缶サットを作ります。

パラシュート自体の工夫、落下姿勢を制御する工夫が今回の実習のポイントです。何回もテストしながらベストな機体を3人チームで製作していきます。



落下中の缶サット



缶サットの例

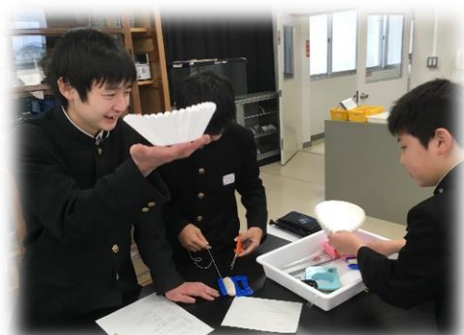


ヘリウムガス気球

缶サットは全国的に普及し始めており、毎年、全国大会も開かれています。



(参考) 教育総合研究所では4月オープニングでも、今回の企画の簡易版、パラシュート実習を中学生対象に開催しました。



実習風景 (工作の様子)



実習風景 (テストフライトの様子)